

特別賞

「暗号方式を用いた傷つかないSNSの提案」

大阪大学大学院 工学研究科 電気電子情報通信工学専攻 博士後期課程2年 宮地 秀至

本研究の背景・意義

デジタル社会の進展 → **誰とでも安心して**情報交換可能なSNSが重要
しかし現在のSNSは

- 一部の人だけが情報を発信 ⇔ 大多数は閲覧者[1]
- 誹謗中傷や個人への攻撃等の社会的課題[2]

本研究の独創性・新規性：プライバシーを保護し、相手の気持ちに気づき、誰もが安心して情報共有可能なSNSの提案

SNSの誹謗中傷：

- デマ拡散事件[2]
- プロレスラーへの誹謗中傷事件[3]
- 政治家への誹謗中傷[4]
- ...

無意識に傷つける投稿：

- SNSを調査した文献[5]
 - 不適切な投稿を行ったと答えたユーザー：全体の約1.5%
 - SNS上の不適切な投稿：意図せずに実行される

SNSの閲覧のみ参加者[1]：

- Instagram: 86.2%
- Twitter: 82.7%
- 既存のSNSは閲覧のみユーザーが多数
- 誹謗中傷を恐れるユーザーが大多数。

誹謗中傷を防ぐSNSの重要性：

阪大SNS(ENLINKER)[6]を設計・運営

- 1年生をはじめ多くの大阪大学の学生が安心して講義や研究室の情報の交換を実現
- 誹謗中傷を防ぐ各種機能を付けることで、投稿者・閲覧者の両方に安心なSNSを実現
- 1. 誹謗中傷を防ぐ各種機能が不要という報告なし
- 2. アンケート：多くの学生が誹謗中傷を防ぐSNSが必要と回答
- ★ 誹謗中傷を防ぐSNSの需要あり



講義の内容や課題が難しい

講義についての質問を気軽に！

ENLINKERではpptやword、PDFを送信することができます。さらに『匿名』の状態ですべての質問を質問できるので、講義の内容や課題で困った時に簡単に質問をすることができます。

[6] <https://enlinker.com>

本提案

- **閲覧者がプライバシーを保護してコメントできる機能**を初めて提案。
- 投稿者と閲覧者の不正を**暗号方式**を用いて防ぐ方法を実現。

[参考文献]

1. <https://shintairiku.jp/blog/twitter/14942.html#:~:text>
2. <https://www.asahi.com/articles/ASP7233X9P72UTIL003.html>
3. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/95890>
4. <https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/202205/0015274053.shtml>
5. 山口真一”ネット炎上の実態と政策的対応の考察”，総務省 徐由豊通信政策レビュー,2015年